



発行：ボーイスカウト石川県連盟
石川県金沢市平和町 1-3-1
石川県平和町庁舎内
発行責任者：野田 政弘
編集責任者：宮東 剛文
令和 4 年 11 月 25 日発行

連盟長あいさつ

皆さん、こんにちは。
ボーイスカウト石川県連盟長の馳 浩です。

石川県では、世界農業遺産にも認定された「能登の里山里海」の豊かな自然が広がる珠洲市において、2003年に日本アグーナリー、2006年と2018年には日本スカウトジャンボリーが開催されました。

ボーイスカウト振興国会議員連盟に所属していた私も日本スカウトジャンボリーに臨席し、参加者の躍動する姿を目の当たりにし、大きな感動を覚えたところです。

国内外から多くのボーイスカウトが集い、交流し、友好の絆を深めたことは本連盟の歴史においてもひとときわ輝いております。

ボーイスカウト活動は、子どもたちの自発性を大切にしながら、野外でのグループ活動を通じて、自主性や協調性、社会性、たくましさやリーダーシップなどを育むすばらしい活動です。

近年、都市化や少子化、地域とのつながりの希薄化といった社会の変化により、成長に必要な遊



びや体験が少なくなりつつある中、ボーイスカウトの果たす役割は、ますます重要になっていると考えており、今後ともボーイスカウト活動を通して、子どもたちが健やかに成長し、明るい未来を創造してくれることを願っております。

ボーイスカウト石川県連盟
連盟長（知事） 馳 浩

スカウトボイス原稿募集

スカウトボイスは、石川県連盟の動きと所属のスカウトの声を幅広くお届けする情報誌です。皆様からの、感動した、楽しかった、苦しかった、友情輪が広がった、等々のエピソードに写真を添えてお寄せください。手書きの原稿も受け付けています。スキャナー取り込みデータまたは原稿をデジカメやスマホで写してボーイスカウト石川県連盟事務局までお送りください。

団の活動紹介もします。我こそはという意気込みのある団は写真を添えて投稿お願いいたします。

今年度よりボーイスカウト石川県連盟のホームページがリニューアルされています。連盟長のあいさつや過去のスカウトボイスが掲載されています。右の二次元コードからアクセスしてご覧ください。



ボーイ隊・ベンチャー隊 挑戦キャンプ

プログラム委員会委員長 中澤利昭

9月23日から25日の3日間の日程で、ボーイ隊・ベンチャー隊向け挑戦キャンプを実施しました。今年度は、『もう一つ上への進級をめざせ!』を「テーマ」として、「スタート地点」、「キャンプ地」を共有し、ボーイ隊スカウト、ベンチャー隊スカウト達がお互いの活動の様子を見る事ができる形で事業を実施しました。

ボーイ隊向けの『1級旅行』には、中学2年生、3年生合わせて9名、『単移動キャンプ』には、高校2年生5名の参加がありました。また、奉仕にはプログラム委員4名の他に、4名の隊指導者、2名のローバースに協力をいただきました。スタートは天候の悪い中でしたが、2日目、3日目は目的地まで、気持ち良い「ハイク」「キャンプ」を行う事ができ、「保護者」「指導者」「ローバース」の皆さんに、感謝しつつ無事に事業を終えることができました。

ボーイ隊スカウト達の1級旅行では、県コミッショナー、副県コミッショナーの支援を受けながら、事前集会を2回行い、「バディの顔合わせ」、「地図作業」「計画書作成」といった本番への準備を行いました。本番では、朝から雨天ではありましたが、予定通りにハイクを開始、いくつかのチェックポイントでの「隊長課題」、「シングルテントでのキャンプ」、「個食調理」をこなし、24時間後に無事に目的地にたどり着く事ができました。

一方、ベンチャー隊スカウト達の『単移動キャンプ』では、参加スカウトが一丸となり、「SDGs」「プラゴミバスターズ」などの自分達で企画した活動をこなしつつ、ボーイ隊以上に楽しそうに「歌を歌いながら設営」、指導者以上に「豪華で楽しい食事」を堪能しつつ、目的地を目指しました。こちらも、見守る指導者達がヒヤヒヤする場面もありましたが、2泊3日の移動キャンプを無事に完了させる事ができました。

この後、スカウト達からの「報告書」提出で完了となりますが、今回も「スカウト達が「有意義なスカウティングを実践できたのではないかと確信し、次年度も皆さんの協力を頂きながら、「スカウトが参加したくなる事業」、「スカウトが

上進したくなる事業」の企画・推進を目指したいと考えています。



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN
1922 - 2022

ウッドバッジ研修所 スカウトコース石川第5期

10月7日（金）から10日（月）にかけて、小松市西俣自然教室にて、ウッドバッジ研修所スカウトコース石川第5期が開催されました。ウッドバッジ研修所は、ボーイスカウト指導者の基礎訓練課程に位置付けられており、ボーイスカウト指導者としての責務を果たすことができるように、スカウト教育に関する基本的な内容を習得することを目的に開催されます。

期間中は悪天候が続きましたが、県内各地から集まった8名の参加者は、野営生活をしながら、講義や体験学習を次々となし、無事3泊4日の研修日程を全て修了しました。

所長および修了者は以下のとおりです。

所長；東本晃典日本連盟副リーダートレーナー

修了者；稲葉 大樹（金沢2） 宮 朋美（金沢6）・ 田村 和栄・菅野 陽一・松本 明子・篠崎 美織・飯田 泰宏（以上金沢11）・堂前 育恵（加賀3）



BP Voice

騎士のさだめ

君たちスカウトは騎士を手本にするのが何よりもよい。

騎士について一つ重要な点は、毎日だれかに善いことをしなければならなかったことで、これまた、君たちスカウトの規則の一つと同じでもある。

朝起きた時、その日だれかに善いことをしなければならぬのだ、ということを中心に思いたまえ。それを忘れないように、ハンカチーフかネックチーフに結び目を作りたまえ。

万一、一日一善をし忘れても、次の日に善いことを二つしたまえ。スカウトのちかいによって名誉にかけてするのだということを忘れてはいけない。しかし、スカウトは、一日一善だけすればそれでよいと考えてはならない。一つはしなければならぬが、もし50もできるならそれは多いほどよいのだ。

善行はごく小さいことでもよい。貧しい人のために募金箱に小銭を一つ入れるだけでも、年寄りの婦人が道を横切るのを助けても、だれかに席をゆずっても、のどが渇いた馬に水を飲ませても、舗装した道から小さなバナナの皮をとりのぞいても、それは善行だ。毎日一つはしなければならぬのだが、君がしたことについて何の報酬も受け取らない時だけ善行に数えることができる。

（スカウティング フォア ボーイズ第I章より）



お悔やみ

県連盟先達の出島信直先生が9月27日お亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。



ワクワク自然体験あそび in 小松 ～ 忍者修行 と お宝探し～

2022年10月2日(日)に“ワクワク自然体験あそび”を実施しました。体験者は午前の部と午後の部(各部：定員40名)に分け、ビーバー・カブスカウトも入れ100名近くの参加となりました。受付で修行ノート(巻物)とポイント地図を受け取り、まず忍者頭領の元へ行き修行(ゲーム)の説明を受けます。

各部5班編成となりスカウト(RS)が、一人引率する形で3つのポイントを回ります。芦城公園と中央緑地の3ポイントで忍者修行を行ない、そのポイントを通る途中に公園内の樹木などの名前を修行ノートに記入します。(植物博士の術)

3ポイントは修行道場として、かくれんぼの術(カモフラージュ)・忍び道の術(追跡サイン)・くらやみの術(暗夜行路)として修行を行ない、最後に追跡サインで小松城跡まで行きます。城跡前では再び、暗夜行路を行ない、天守台へ上り『宝物』を探すという広範囲の活動となりました。

一般の子供たちは、“自然体験あそび”が初めてのボーイスカウト活動で、非常に元気よく楽しんでいた様子が伺えましたが、同伴の保護者は日頃の運動不足か、ゲーム最後の城跡までの往復ハイキングが少し疲れた様子でした。なおポイントスタッフは、Tシャツにより忍者に扮装して子供たちを楽しませます。

「一般参加の子供たちの声」

- ・おもしろかったなので、また来たい!
- ・また、こんなことをしてほしい!

「一般参加の保護者の声」

- ・次のスカウト活動に声を掛けてください!
- ・幼い子供は歩き疲れすぎて、ポイント渋滞で待ち時間が辛かったとの声もありました。

当日は秋晴れのもと、午前・午後とそれぞれ約3時間の活動でした。自然の中でみんなの笑顔を見ることができ、盛況のうちに終わることができました。

参加団：川北1、根上1、小松8、小松3
協力スタッフ：約30名

